

乳がんの状況

乳がん罹患する人は年々増加傾向にあり、現在では、9人に1人といわれています。

乳がんは、わが国の女性のがんによる死亡原因の上位に位置し、命にかかわることの多いがんです。

がん死亡数の順位(2023年)【全国】

	1位	2位	3位	4位	5位
女性	大腸	肺	膵臓	乳房	胃

国立研究開発法人国立がん研究センター

津市がん検診の対象は、 自覚症状のない人です

早期の乳がんは自覚症状がないことが多いです。また、乳がんの中には急速に進行するがんもあります。しこり、乳房の引きつれ、乳頭から血性の液が出る、乳頭の湿疹やただれなどの症状がある場合には、次の検診を待たずに医療機関を受診しましょう。



自覚症状がない場合は、定期的に検診を受けることで、がんを発見できる確率は高まります。



40歳以上の人は、2年に1度
マンモグラフィ検査を受けましょう

「乳がん」「がん検診」などのがん情報についてもっと詳しく知りたい人は、国立がん研究センターのがん情報サービスをご覧ください。

国立がん研究センターがん情報サービス

ganjoho.jp



～個人情報の取り扱い～

がん検診結果や精密検査の結果は、厚生労働省等の指針・ガイドラインに基づいて、市へ報告されます。

がん検診を受けた医療機関以外で精密検査を受診した場合は、検診と精密検査を受診した医療機関間で結果を共有することがあります。

受診者の氏名や住所は、がん検診のアンケートや精密検査の受診勧奨通知等に利用することがあります。

津市や三重県の健康推進を目的に、がん検診や精密検査の結果について統計的な処理を行い、公表することがありますが、その場合個人が特定されることはありません。

津市 健康づくり課 令和7年6月作成



乳がん検診
を受ける方、受けた方へ

早期発見・早期治療で命を守る



国は、受診を特に
推奨する者の年齢を
69歳以下としています

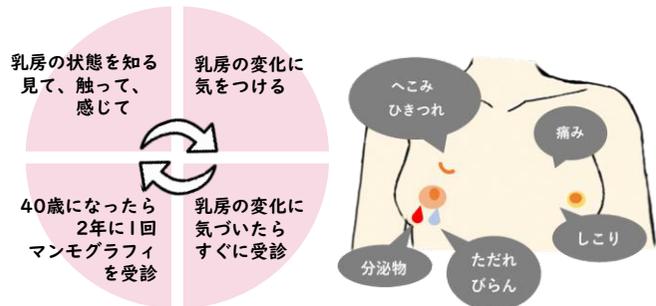
乳がん検診の有効性

津市が推奨する乳がん検診（マンモグラフィ）は、「死亡率を減少させることが科学的に証明された」有効な検診です。デメリットよりも、がんで亡くなることを防ぐメリットが大きいことが証明されています。

メリット	早期発見・早期治療	進行していない状態のがんを発見し、命を守ることができる
	安心を得る	検診で「異常なし」と判定された場合、安心できる
デメリット	偽陰性	がんが100%見つかるわけではない（精検不要とされたが、がんだった）
	偽陽性	結果的に不必要な治療や検査を招く可能性がある（要精検とされたが、がんではなかった）
	過剰診断	生命や予後に影響しない、微小で進行の遅いがんを見つけてしまう
検査に伴う偶発症		マンモグラフィにおける放射線被ばく

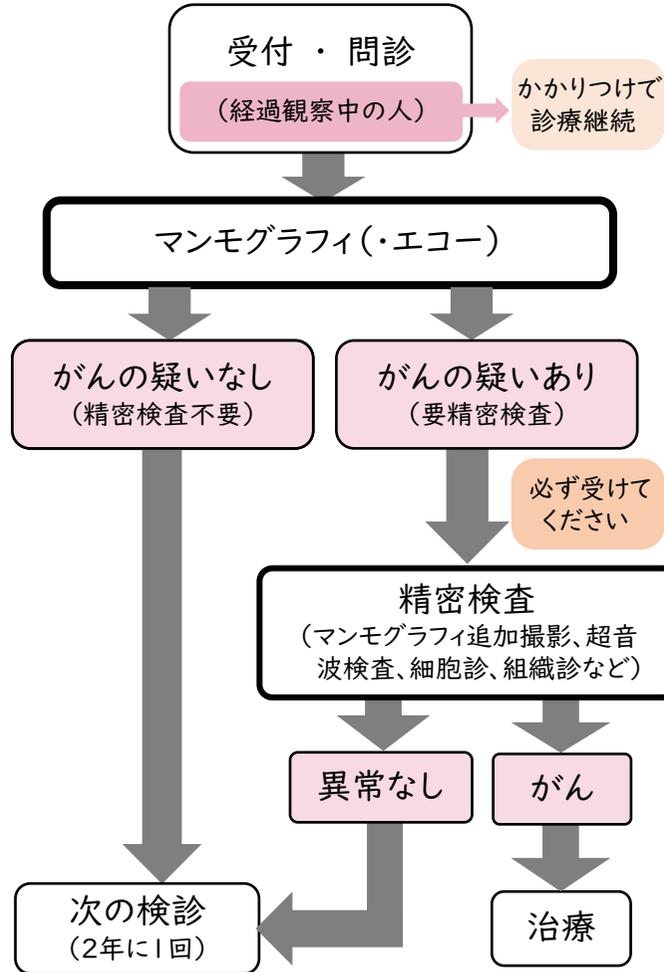
ブレスト・アウェアネス

ブレスト・アウェアネスとは、日頃から自分の乳房を意識し、乳房の変化に気をつける生活習慣のことです。



【参考】<https://breastcs.org/information/self>
ブレスト・アウェアネス（乳房を意識する生活習慣）のすすめ

乳がん検診の流れ



津市では、国の指針に基づき、判定の精度を高めるため、2人の医師が判定を行う二重読影を行っています。そのため、検診結果の返却には1か月程度かかります。

エックス線検査（マンモグラフィ）

小さいしこりや石灰化を見つけることができます。乳房を片方ずつプラスチックの板ではさんで撮影します。乳房が圧迫されるため痛みを感じることがありますが、圧迫時間は数十秒ほどです。

*放射線被ばくによる健康被害は、ほとんどありません。
*妊娠中や妊娠の可能性のある人は、被ばくの影響の少ない超音波検査がよいでしょう。



乳房超音波検査（エコー）

超音波により乳房の病変の有無を調べます。乳腺の発達した人や若い人に適しています。



精密検査は必ず受けましょう！

検査の結果、要精密検査となった場合には、必ず検診を受けた医療機関に相談してください。

精密検査の方法

《マンモグラフィ追加撮影》

疑わしい部位を多方面から撮影します。

《乳房の超音波検査》

超音波で、疑わしい部位を詳しく観察します。

《細胞診、組織診》

疑わしい部位に針を刺して細胞や組織を採取し、悪性かどうか診断します。

*その他、必要に応じ、マンモトームや乳腺のMRI検査などを行う場合があります。